



オーダーメイド収納[オオ]

# 受木仕様施工説明書

必ずお読みください

201105

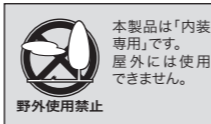
施工業者様用

南海プライウッド株式会社

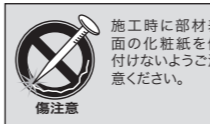
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10  
 北海道・東北営業グループ TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695  
 関東甲信越営業グループ TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645  
 首都圏営業グループ TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645  
 中部営業グループ TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646  
 近畿営業グループ TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647  
 中四国営業グループ TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648  
 九州営業グループ TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649  
 新規需要開拓グループ TEL(087)825-3631 FAX(087)825-3659  
 営業開発グループ  
 一特需営業チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669  
 一技術営業チーム TEL(087)825-3651 FAX(087)806-3640

## ⚠️ ご注意

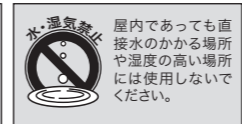
- ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願い致します。間違った施工・取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。
- 施工前に受木・受棧・棚柱などの取付位置には、必ず12mm合板などの下地補強を行なってください。
- 施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 本製品はフロア施工・クロス貼り後に取り付けてください。



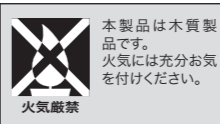
本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



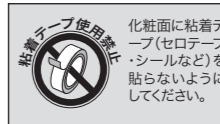
施工時に部材表面の化粧紙を傷付けないようご注意ください。



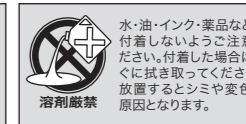
屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



本製品は木製品です。火気には充分お気を付けてください。



化粧面に接着テープ(セロテープ・シールなど)を貼らないようにしてください。



水・油・インク・薬品などが付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

## 施工される方へ 使用前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願い致します。

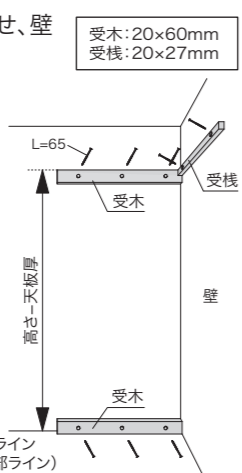
## 施工前のご確認 伸寸設定をされている場合は、図面で寸法などのご確認をお願い致します。

### 1 受木・受棧の取付

受木・受棧を所定の位置(図面)に合わせ、壁にビスL=65で固定してください。

基本ビス固定数

間隔	固定数
~300	2本
~600	3本
600~	300ピッチ



#### POINT

受木・受棧は水平・垂直をご確認の上、施工を行なってください。全ての工程の基礎となります。ビスはL=65にビスキャップ用ワッシャーを付けてから施工してください。

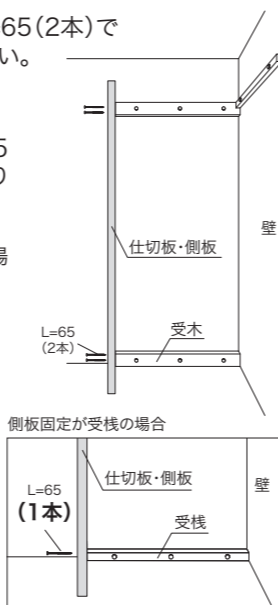
受棧の固定が壁ではなく、側板の場合はビスL=38で固定してください。

### 2 仕切板・側板の取付

●仕切板の場合  
仕切板を上部・下部の受木にビスL=65(2本)でビス頭が出ないように固定してください。

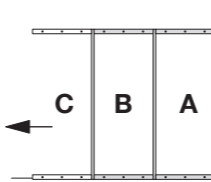
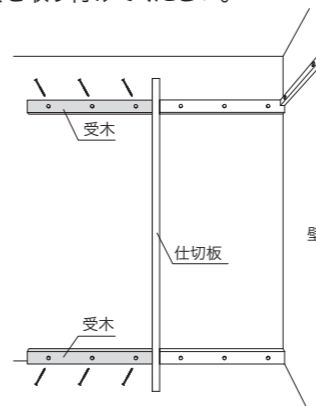
●側板の場合  
側板を上部・下部の受木にビスL=65(2本)で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

※側板を固定する部材(受木)が受棧の場合は、L=65(1本)で固定してください。



### 3 受木の取付(B部分)

受木を所定の位置(図面)に合わせ、壁面にビスL=65で固定し、[2]同様に仕切板・側板を取り付けてください。



#### ●応用編

これでA・B部分の受木・仕切板の施工が完成です。仮にC部分があった場合もA・B部分の作業と同様に施工してください。

### 枠の取付

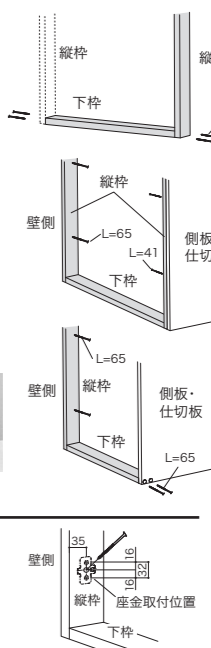
●枠の組立  
縦枠と下枠・上枠をビスL=65(2本)で固定してください。[2方枠]・[3方枠]がありますので、右図のように枠を先に組み立ててください。

●本体への枠取付[3方枠の場合]  
縦枠を壁・側板・仕切板にビスL=65・41で固定し、ビスキャップまたは丸シールを貼ってください。

●本体への枠取付[2方枠の場合]  
壁側縦枠を壁にビスL=65で固定してください。下枠は、所定の位置(図面)に合わせてビスL=65(2本)で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

#### POINT

ビス頭が隠れるように縦枠のビス固定位置は、扉座金のセンター部分を推奨します。(右図参照)

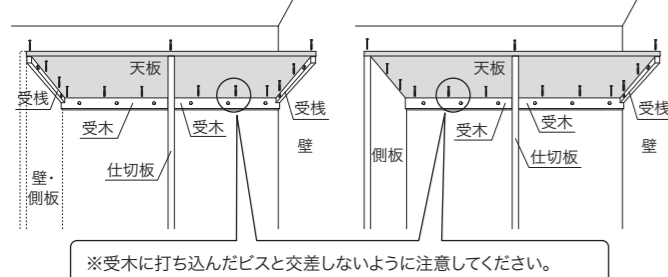


### 4 天板(底板)の取付

●天板の場合  
天板をホワイトビスL=41で受木・受棧(または側板)・仕切板に上部から固定します。

[側板勝ち仕様]

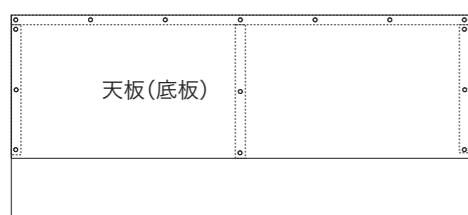
[天板勝ち仕様]



※受木に打ち込んだビスと交差しないように注意してください。

#### ●底板の場合

浮付タイプで底板の場合は、下部よりL=41ホワイトビスで受木・受棧・仕切板に固定します。

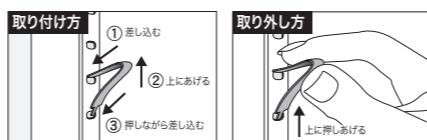


### 5 棚柱セットの取付

●棚柱の取付(棚板・樹脂棚板共通)  
棚柱を壁より所定の位置(図面)に合わせて棚柱を取り付けます。この時、棚柱を4本とも同じ高さに取り付けてください。棚柱の受穴位置の確認も行なってください。

ビスは壁側:ホワイトビスL=30、側板・仕切板側:ホワイトビスL=20で施工してください。

●棚受の取付(棚板・樹脂棚板共通)  
棚受を右図の要領で棚柱に差込んでください。

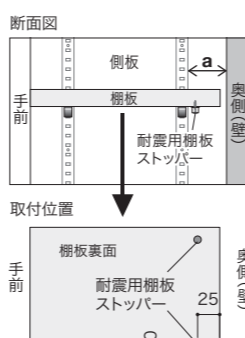


(樹脂棚板の取付)  
棚受取り付け後、棚受に樹脂棚板奥側の溝部分がくるように載せてください。

●耐震用棚板ストッパーの取付(棚板)  
棚板に耐震用棚板ストッパーを取り付け、棚受に棚板を載せてください。

※棚柱と奥側(壁)との間隔が30mmの場合、奥側(壁)より25mm、側面より10mmの位置を推奨しています。

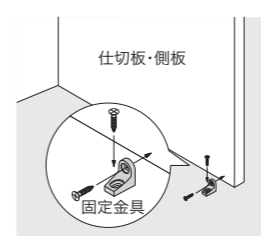
耐震用棚板ストッパー取付推奨位置	
棚柱・奥側壁間隔(a)	固定位置
30mm	奥側25mm・側面10mm
50mm	奥側45mm・側面10mm



### 6 固定金具の取付

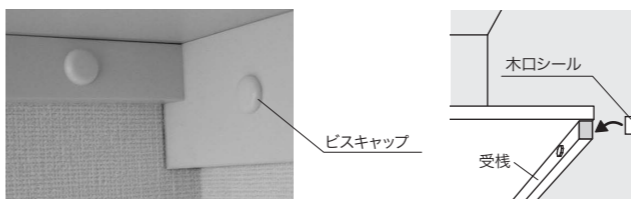
仕切板・側板下部と床面を固定金具を使ってビスL=20で固定してください。

※固定金具は所定の位置(図面)に合わせてください。



### 7 ビスキャップ・木口シールの取付

最後にビスキャップの取り付け及び受棧の木口面に木口シールを貼り付けてください。

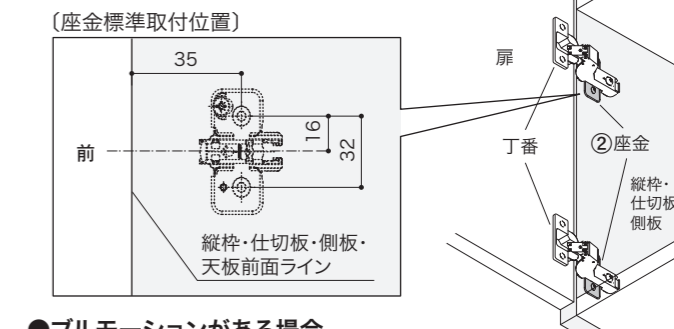


### 開戸の取付

①丁番を開戸のカップ穴に差し込み、同梱のビスで取り付けてください。



②(座金標準取付位置)で座金の取り付け方向・位置を確認し、座金を縦枠・仕切板・側板に同梱のビスで取り付けてください。



#### ●プルモーションがある場合

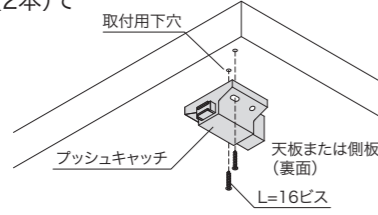
扉調整後、プルモーションを丁番に取り付けてください。



## プッシュキャッチ(マグネット)の取付

### ●プッシュキャッチ本体の仮固定

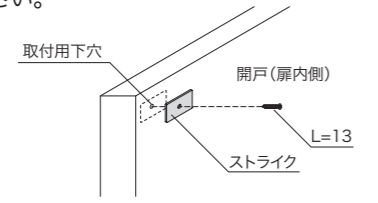
プッシュキャッチの楕円部分2カ所を天板もしくは側板の取付用下穴に合わせ、ビスL=16(2本)で仮固定します。



### ●扉用ストライクの取付

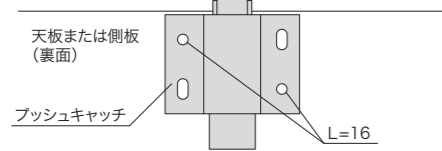
木製開戸の場合は、同梱のストライクを木質扉の取付用下穴にビスL=13で固定してください。

※アルミ製開戸の場合は、ストライクが予め取り付けられています。



### ●プッシュキャッチ本体の固定

プッシュキャッチと扉のストライクとの当たりを確認し、プッシュキャッチの位置を調整します。その後、残りのプッシュキャッチ正円部分2カ所に、ビスL=16にて天板もしくは側板に固定してください。



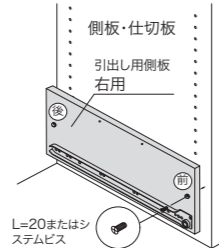
## フレーム引出しの取付

### ●引出し用側板の固定

引出し用側板を壁・側板・仕切板にビスL=20またはシステムビスを使って貫通穴2カ所から固定します。

※側板・仕切板に下穴がある場合は下穴へ固定してください。側板・仕切板に下穴がない場合は引出し用側板を側板・仕切板前面ラインより20mm以上あけて固定してください。

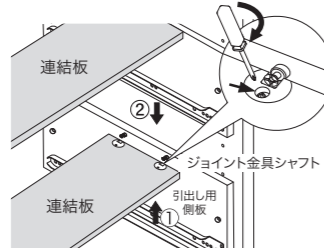
※引出し用側板は左用・右用があります。間違いないように注意してください。



### ●連結板の取付

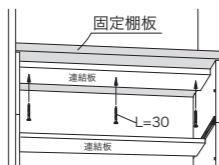
一番下に設置する引出しは、連結板を下から入れ、ドライバーでジョイント金具シャフトと接続します。

次の段からは、組み上げた本体をのせ、側板・仕切板にビスL=20またはシステムビスで固定していきます。



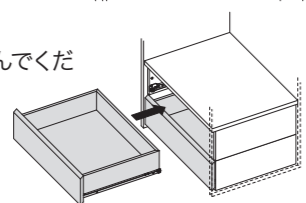
### ●固定棚板の取付

連結板の上部に固定棚板をのせ、ビスL=30で3カ所固定してください。



### ●引出しのセット

引出しをスライドレールに差し込んでください。

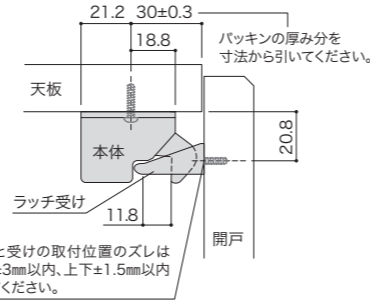


## 耐震ラッチの取付

### ●耐震ラッチ本体の取付

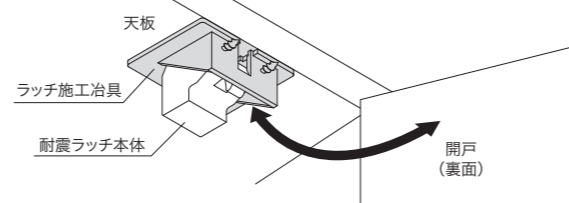
耐震ラッチ本体を同梱のビスL=16で取り付けます。(左図参照)

※W方向は任意の位置とします。



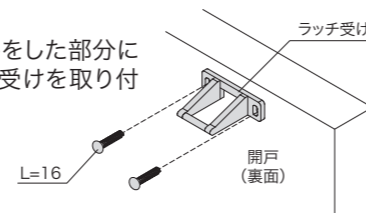
### ●ラッチ受けの位置出し

ラッチ施工治具を耐震ラッチ本体に組合せ、その状態で開戸を閉め、ラッチ受けを取り付けるビスの位置出しをします。



### ●ラッチ受けの取り付け

ラッチ施工治具で位置出しをした部分にビスL=16(2本)でラッチ受けを取り付けてください。



## 木質引違戸の取付

### ●レールの取付

【奥側(左扉)のレール】左側から上吊金具2コ→ストッパーの順でレールに挿入。

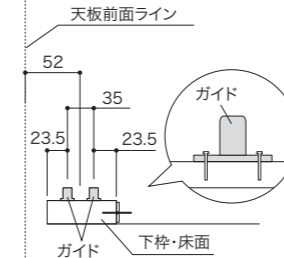
【手前(右扉)のレール】左側からストッパー→上吊金具2コの順でレールに挿入。

セットした状態でレールを溝付天板に同梱のビスで固定してください。



### ●ガイドの取付

下部ガイドを下枠または床面に同梱のビスで固定してください。



### ●扉の取付

扉を上吊金具→下部ガイドの順で差し込み、扉を固定します。



## ハンガーパイプの取付

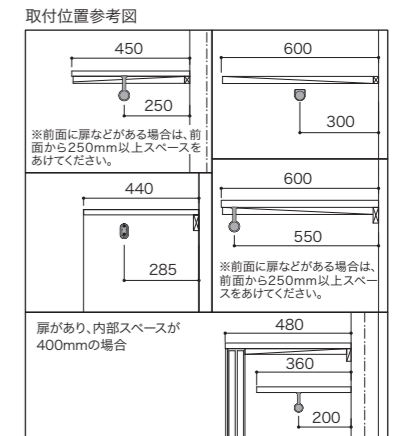
ハンガーパイプを所定の位置(図面)または任意の位置に取り付けます。(下図参照)

### ●上吊タイプの場合

天板・棚板に4~6mmの下穴をあけ、同梱のボルトにワッシャーを付けて棚上から固定してください。

●ソケットタイプの場合 壁・側板・仕切板に同梱のビスで固定してください。

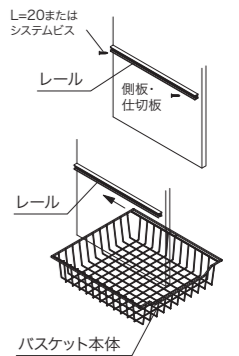
●中吊金具がある場合 パイプ幅の中央位置に4~6mmの下穴を開けて中吊金具を取り付けてください。



## バスケットの取付

所定の位置(図面)に合わせ、バスケットレールを壁・側板・仕切板にビスL=20またはシステムビスを使って固定してください。両側にレールを設置後、レールにバスケットを差し込みます。

※ビスを締めすぎないでください。バスケットレールが破損する恐れがあります。ダボ穴がある場合はシステムビスを使用し、レールの間隔は、160mm以上あけて設置してください。

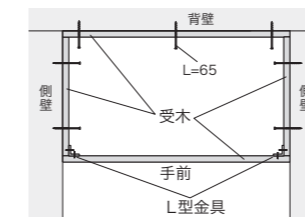


## ランドリーボックスの組立

### ●台輪の組立

受木を背壁・側壁にビスL=65で固定してください。L型金具で手前側の受木と側面側の受木を同梱のビスで固定してください。

【上面図(台輪部分)】



### ●底板・側板・受棧・固定棚の取付

底板(①)を台輪に固定してください。両側の側板で隠れる部分にビスL=65、見える部分はビスL=65で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

側板(②)・受棧(③)を壁にビスL=65で固定し、ビスキャップを取り付けてください。固定棚(④)は、受棧下部よりホワイトビスL=41で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

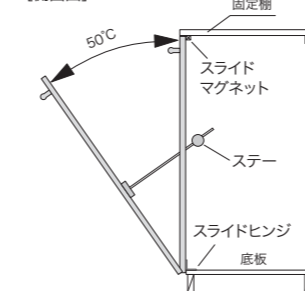
【正面図】



### ●扉の取付

扉と底板にスライドヒンジを取り付けます。扉に付属しているスライドマグネットを固定棚に取り付け、扉の調整を行なってください。固定棚と扉の間隔は約3mmとし、固定棚前面ラインに合わせて固定してください。ステーは、前扉の開き角度を見ながら調整し固定してください。(約50度推奨)

【側面図】



※ランドリーバスケットは任意の位置に固定してください。

## トイレトペーパーストックの組立

### ●背板・側板の取付

背板に座金を所定の位置(図面)に取り付けた後、背壁にビスL=65で固定し、ビスキャップを取り付けてください。側板は側壁にビスL=65で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

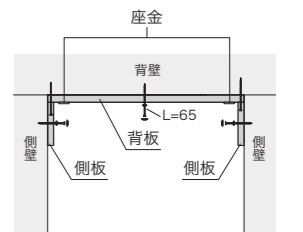
### △ご注意

ダボ仕様は前板にダボ穴加工を施しているため、幅寸法を守ってください。

### ●固定棚の取付

固定金具を使って固定棚を側板にビスL=20で固定してください。

【上面図】

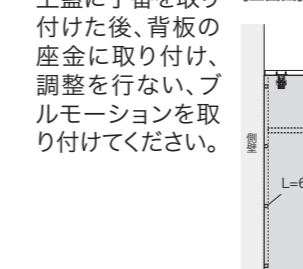


### ●前板・上蓋の取付

#### 【ビス仕様の場合】

前板をビスL=65で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

【正面図】



【側面図】



#### 【ダボ仕様の場合】

側板のダボ穴に接着剤を塗布し前板を固定してください。

【正面図】

